

平成30年度 学力向上プラン

深谷市立豊里中学校

R 分析

全国学力・学習状況調査より

《 国 語 》

- ・読み取りの問題や歴史的仮名遣いの正答率がよかった。
- ・複数の資料を基にした意見を書く問題に課題がある。

《 数 学 》

- ・反比例のグラフと表の関連、問題場面の具体的な数値から正しく結果を求めること、証明から新たなことが見つける等の正答率が高い。
- ・不等式で表すこと、等式の変形、三角形の内角と外角、比例定数の意味、変域、一次関数と連立方程式の解、確率、文字式を用いての説明等が課題であった。

《 理 科 》

- ・観察・実験の技能、濃度、無脊椎動物に関する知識が高かった。
- ・原子・分子のモデルや化学変化を表したモデルなどを説明、活用する力が不足。

埼玉県学力・学習状況調査より

- ・国語では、説明的文章の読解がよく、文学的文章の心情の読み取りが課題。
- ・数学で、1年では少数・分数の計算、図形等、2・3年では、文章から式を作ることや知識を活用して推察したり、説明したりすること等が課題であった。
- ・英語で、2年では、前置詞を用いた英文の語順、3年では、一般動詞を用いた英文の語順やまとまった英文を聞いて答えることに課題が見られた。



G ゴール

【平成34年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- 県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- NRT・NINOで偏差値50を上回り、アンダーアチーバーをゼロにする。

【来年度に向けての数値目標】

◎来年度に向けて、上位層を増やし、下位層を減らす。

	国語	数学	英語
新2学年	上 1.7% ⇒ 10% 下 5% ⇒ 2%	上 15% ⇒ 17% 下 8.3% ⇒ 5%	
新3学年	上 8.3% ⇒ 10% 下 3.3% ⇒ 2%	上 6.7% ⇒ 10% 下 16.7% ⇒ 10%	上 35% ⇒ 39% 下 0% ⇒ 0%

※上位層＝正答率 75%以上、中位層＝正答率 75%未満 25%以上、下位層 25%未満
(埼玉県学力学習状況調査より)

【次年度に向けての重点計画】

- ・ B問題を積極的に授業・定期テストに取り入れる。
- ・ 校内のグッドプラクティスを分析・研修し、相互授業参観を行い、授業力を高める。
- ・ 他の中学校のグッドプラクティスを参観する。

8月

校内研修（本校の課題の共通理解・全教職員で全学調問題確認）

9月

校内のグッドプラクティスの分析・検証

校内研修（各教科の授業における取組の重点の精査）

教科部会

各教科の取組

（各教科のB問題を意識した授業の取組の確認、実践・資料の蓄積）

10月

英検対策講座

校内相互授業参観（他教科の学力向上の取組を参観）

11月

学力向上研修（他の小・中学校のグッドプラクティスを参観）

校内研修で報告・共通理解

12月

B問題を取り入れた期末テストの実施

1月

校内相互授業参観（他教科の学力向上の取組を参観）
指導法の振り返りと改善

2月

数検対策講座

3月

B問題を取り入れた期末テストの実施

朝学習の実施
基本問題の反復

B問題を意識した授業の実施

家庭学習のプリントの整備

読書啓発・読書習慣定着の取組